

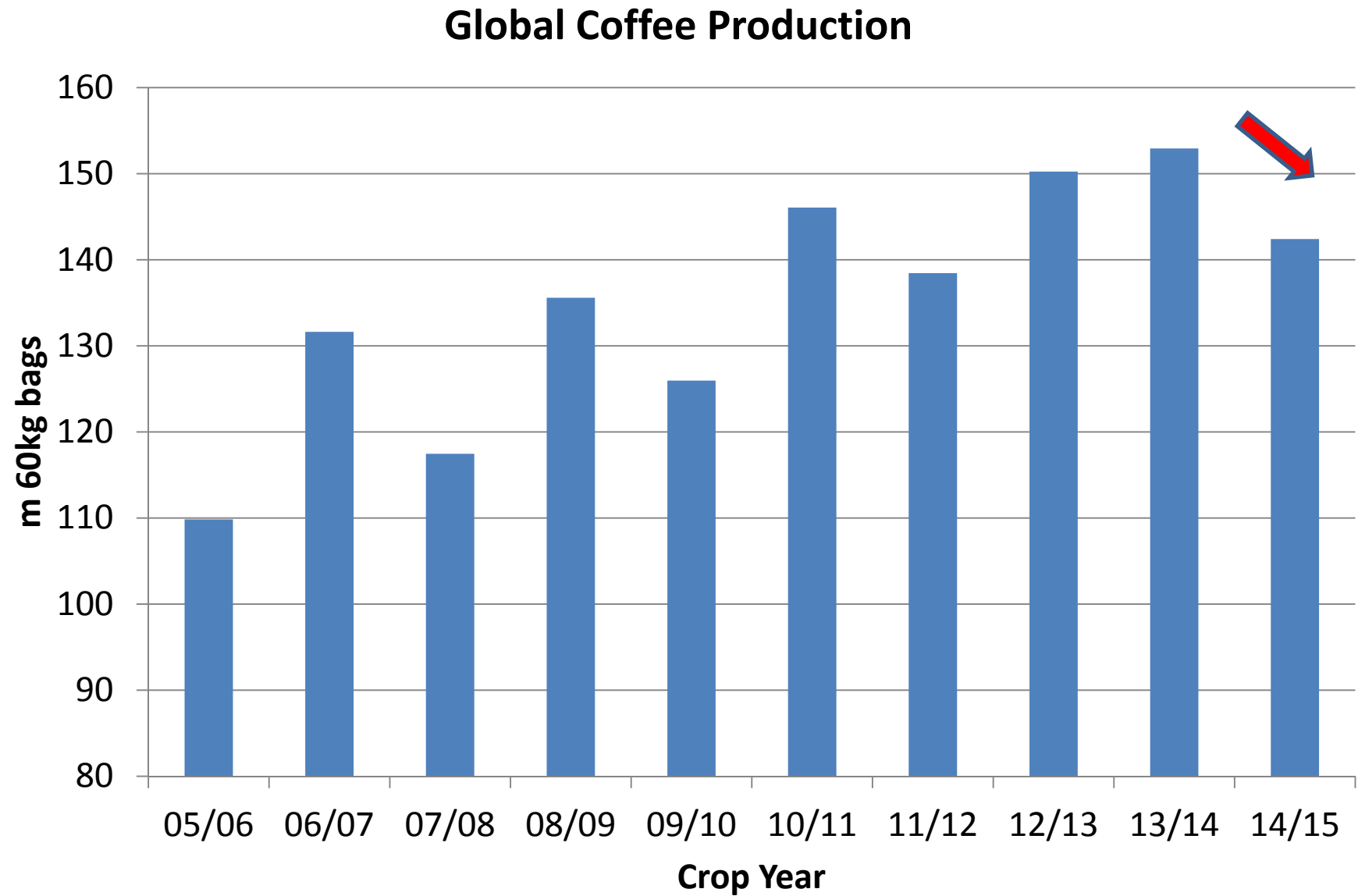


世界のコーヒー需給

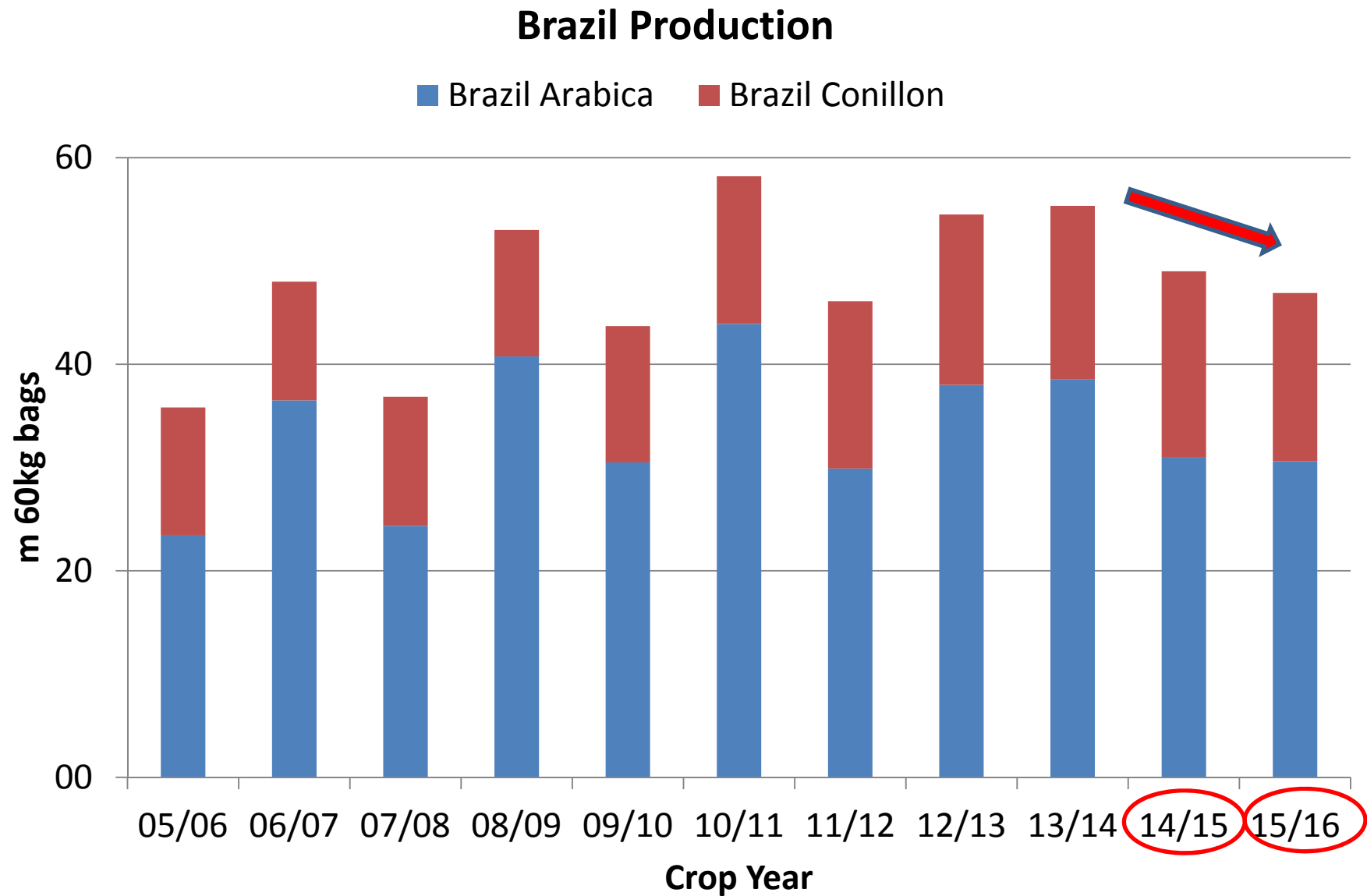
2015年6月
グリーンコーヒー協会

出所: NKG Statistical Unit

世界の生産量は過去最高の2013/14クロープより落ち込む見込み



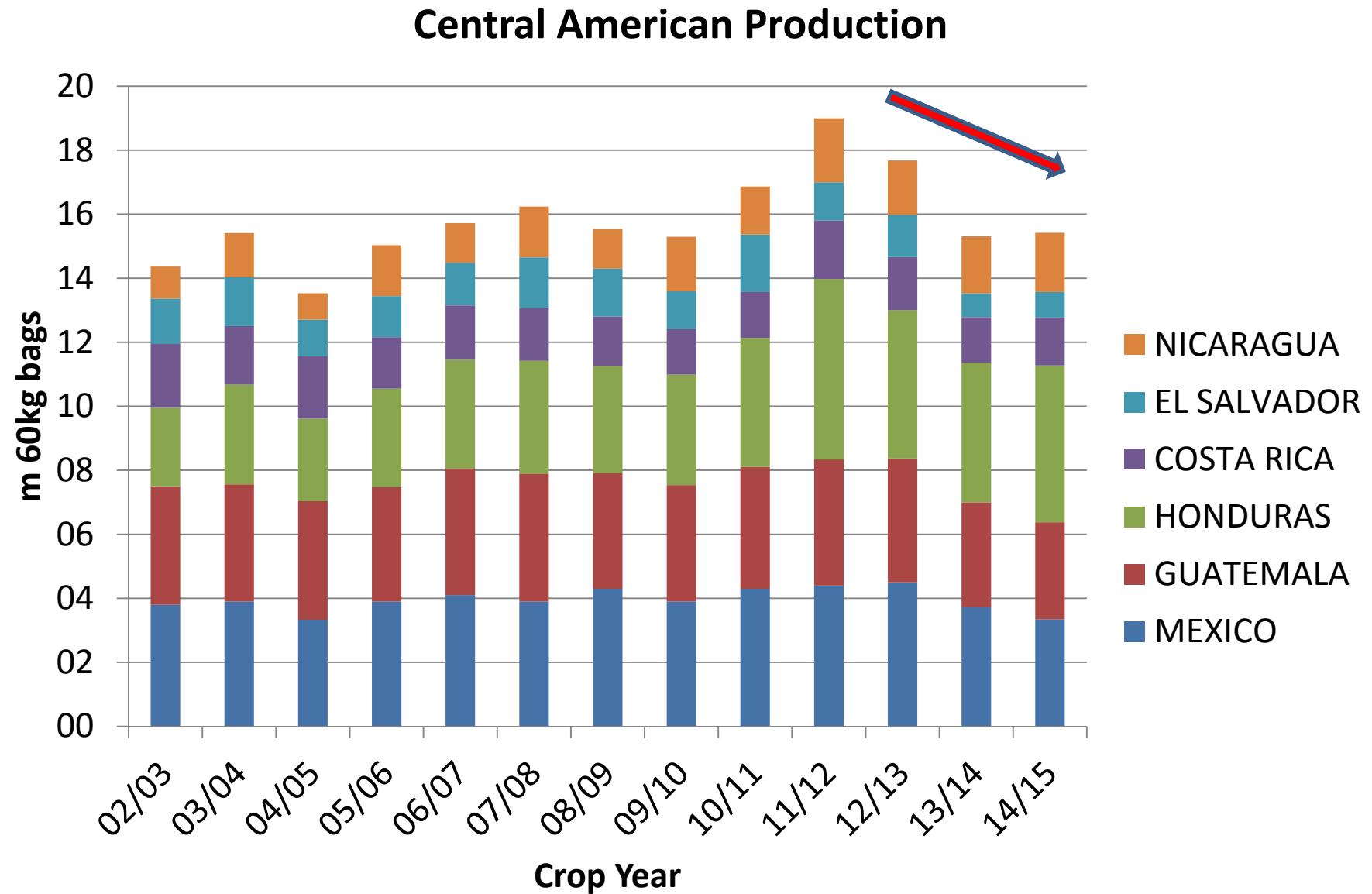
ブラジルでは2014/15クロープと2015/16クロープに干ばつの影響が出る



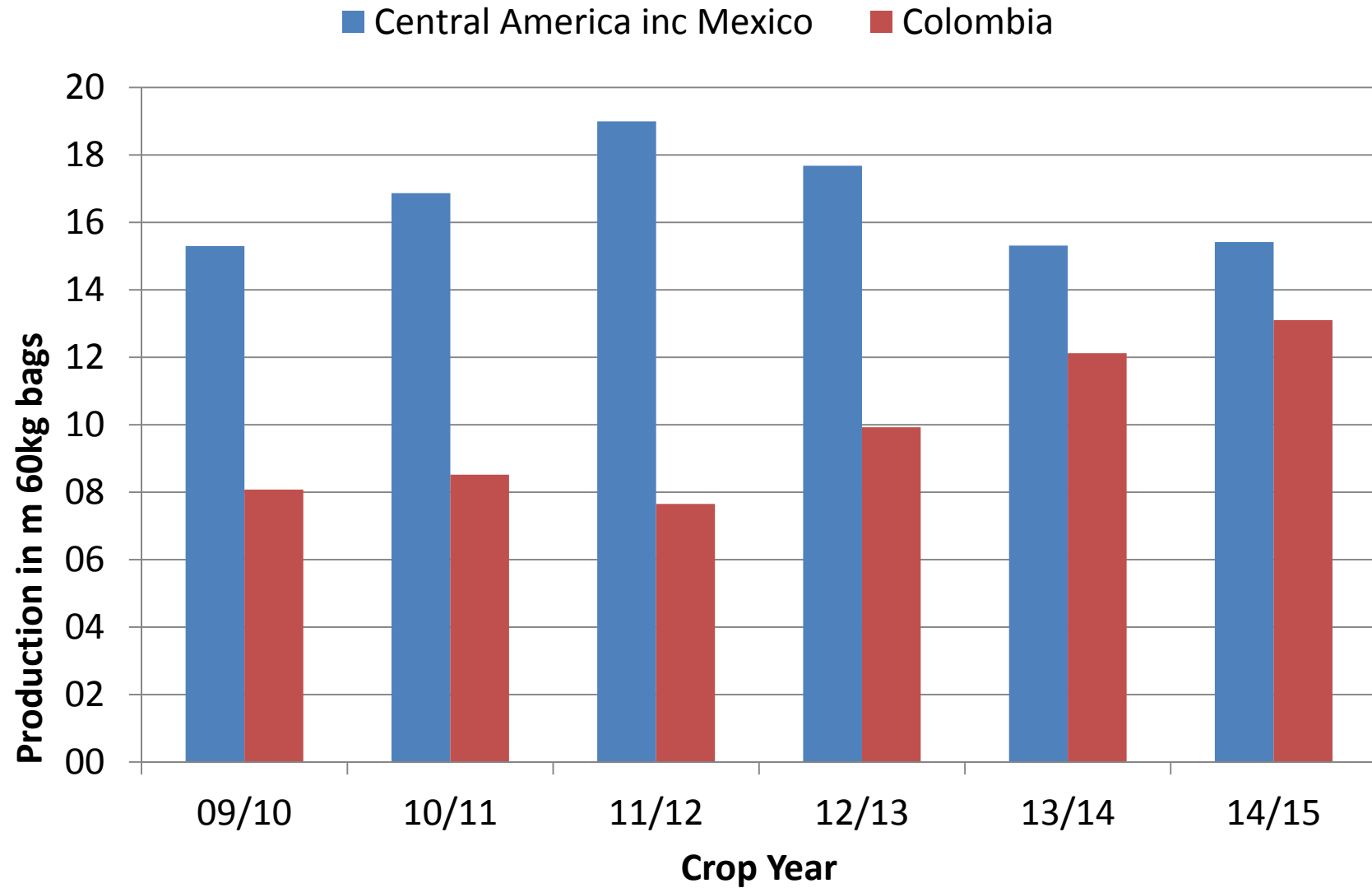
ブラジル2015/16クロップ状況

- 2015/16クロップは4530（アラビカ3060万袋、コニロン1630万袋）～4690万袋を見込む。降雨状況が改善したため当初の見通しよりも上方修正。
- 他の輸出業者報告の数字（5000万袋前後）との乖離があるのは下記理由：
 - ① ゾナダマッタ地域では本来今クロップは表年だが昨年9～3月まで例年の20～37%降雨が少なかったためその影響が大きく出そう。
 - ② 今年3～4月に天候改善し降雨も例年通りに戻ったが、昨年よりも実の付き方が悪く、生産量も少ないのではと懸念が残る農園が見受けられる。
 - ③ これからの収穫における天候が良く、良質品の歩留りも高ければ生産量も予想より上方修正される可能性はあるが、現状からすると期待はできない。いずれにせよこれからの天候が最終的な数量と品質を大きく左右する。
- コニロンについては11月から1月の干天により例年よりも100万袋ほど減産を見込んでおり、1600～1700万袋になると思われる。この見通しは各業者とも同様。

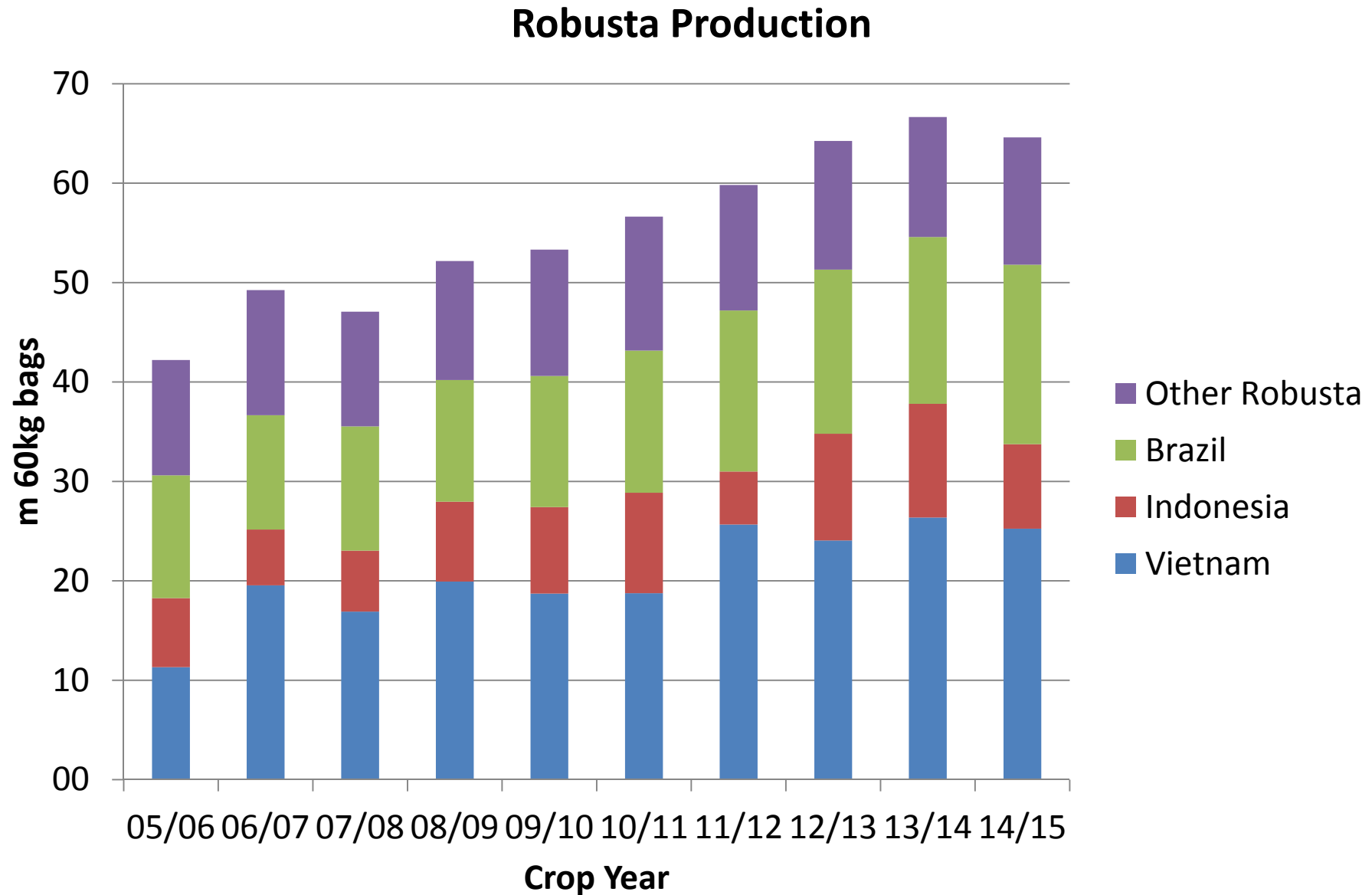
中米ではホンジュラスを除きサビ病の影響を引き続き受けている。



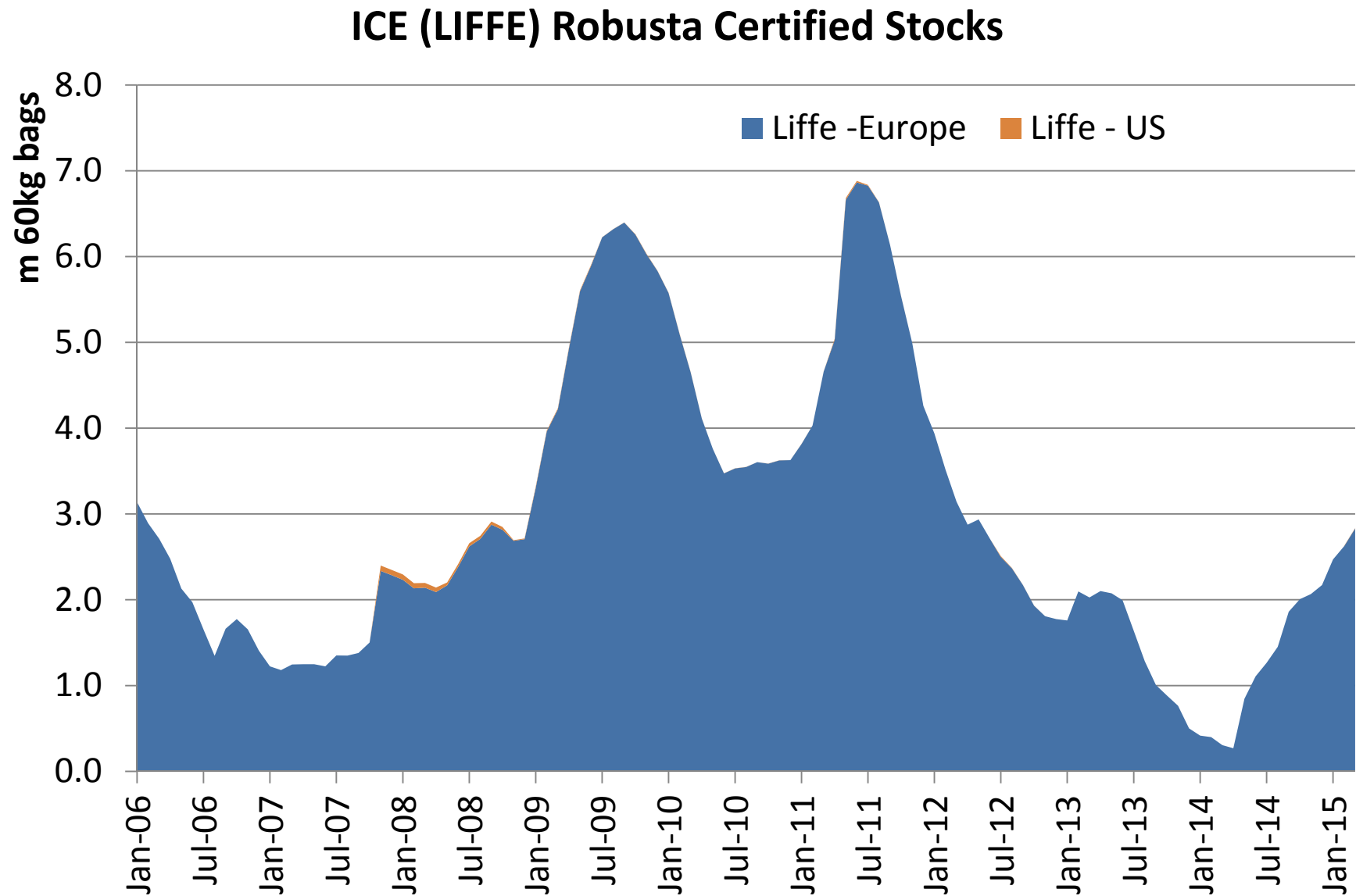
コロンビアではリノベーションが奏功し生産量が大きく回復している



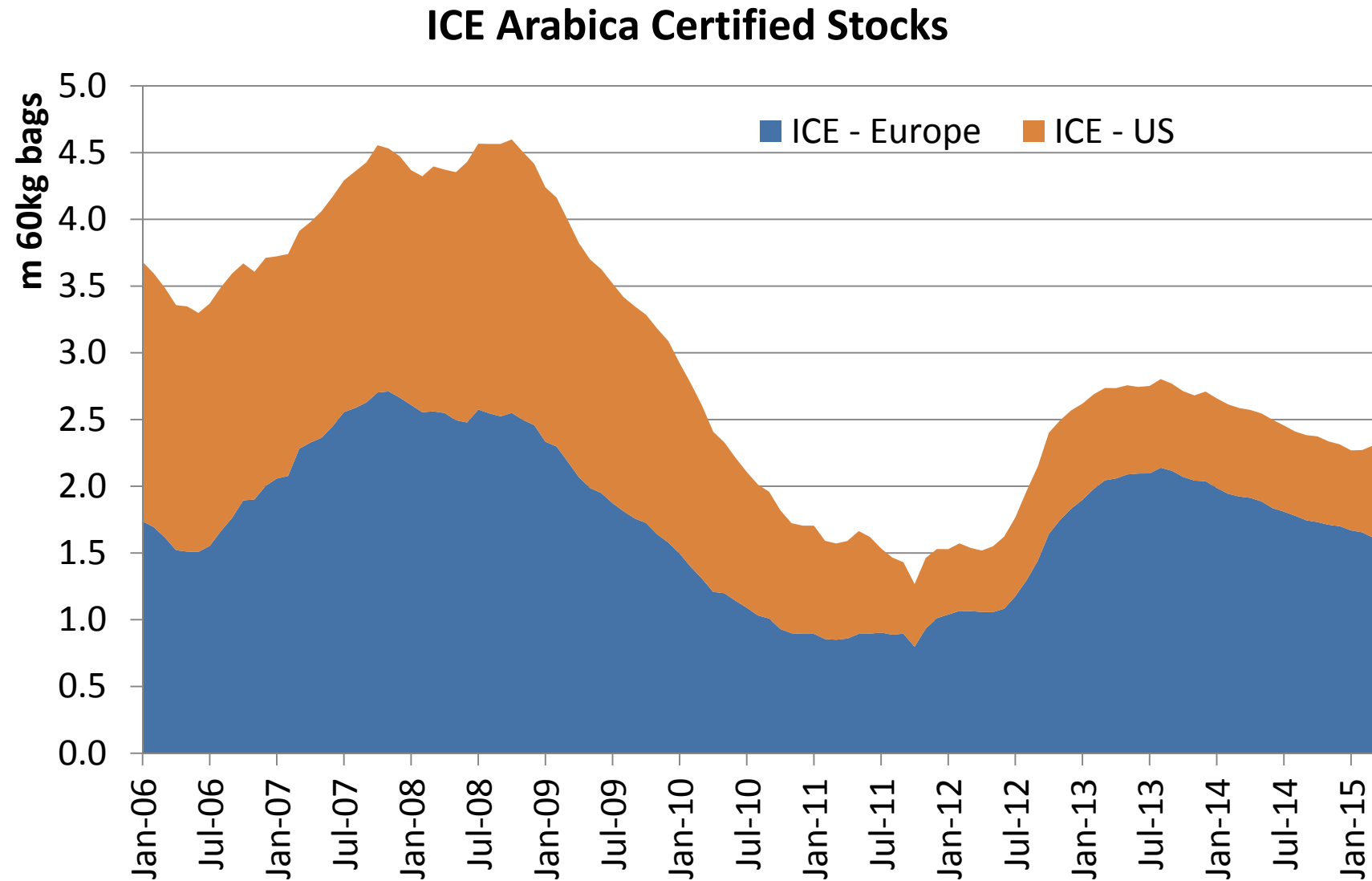
ロブスタの生産量はアジア諸国の落ち込みで2014/15クロープは減少した



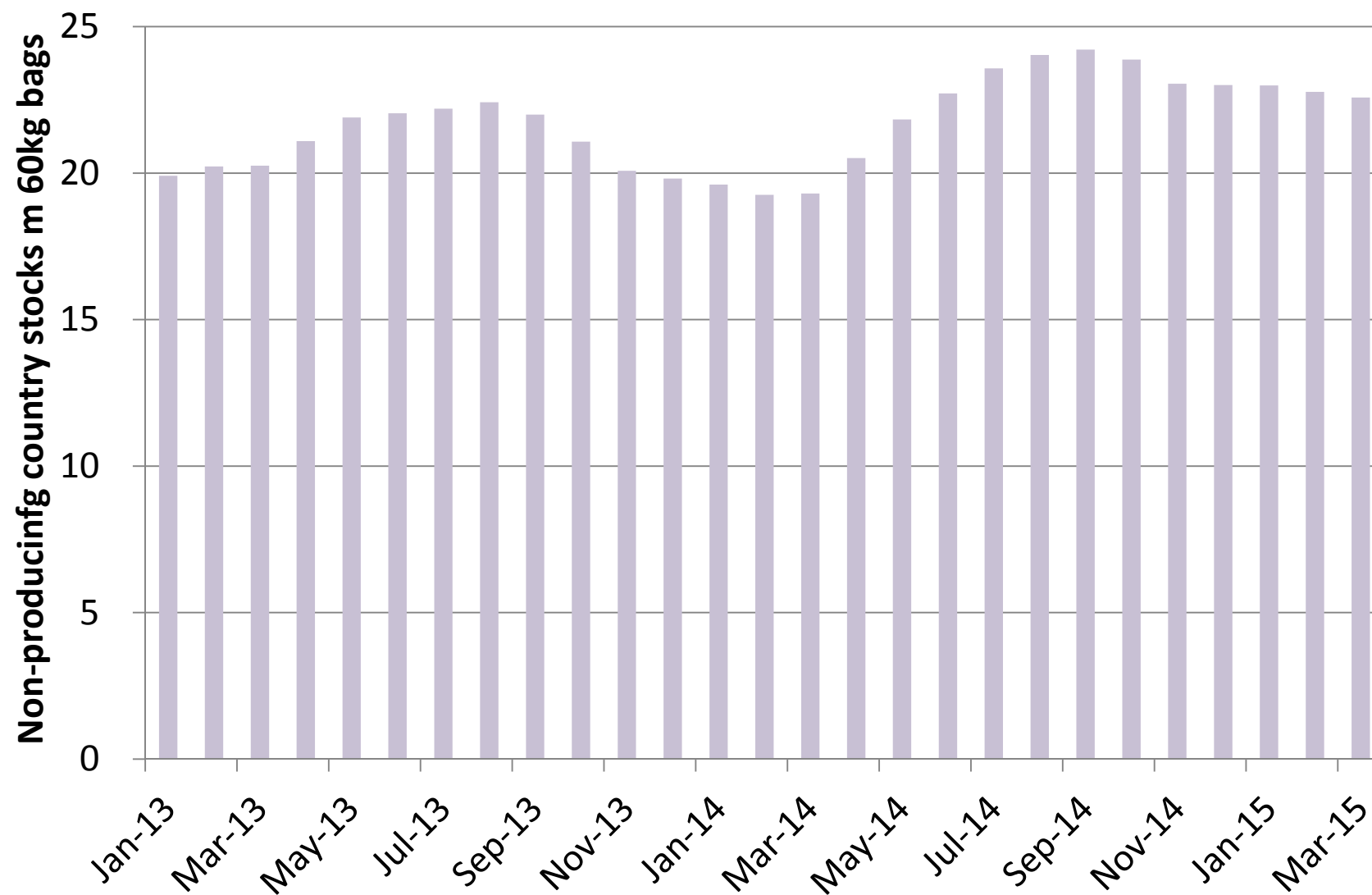
ロブスタ認証在庫量は13年から回復している



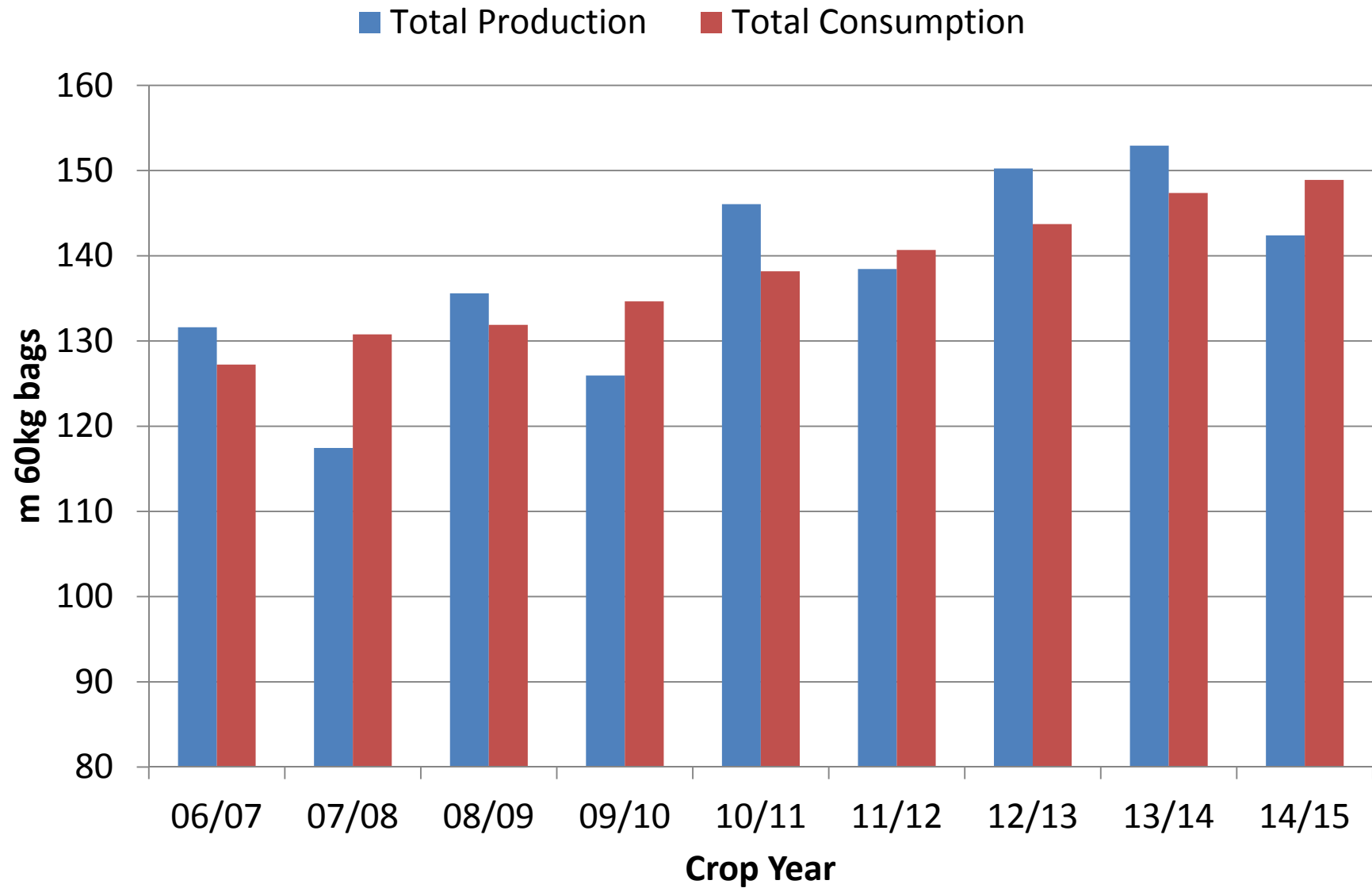
アラビカ認証在庫量は安定的に推移している



消費国の総在庫量は2014年後半からやや減少もまだ多い水準



世界の需給、14/15クロープは過去2年の供給過剰から一転供給不足に



サードウェーブ 「茶亭羽當」の“おもてなし”から「ブルーボトル」が誕生、現在3店舗



コンビニコーヒー

大手5社で2015年度は19億杯、昨対30%UP。
差別化でシングルオリジンや認証コーヒーも続々と。



フルサービス喫茶店 シニア層に「高品質コーヒー」と「憩いの空間」を提供



ご清聴ありがとうございました。